

コミュニティにおける地球環境管理と 情報通信技術の利用

2013年5月25日(土) 15:00~17:30

日本大学 駿河台キャンパス(東京都千代田区)
理工学部1号館 121会議室

主催:日本環境共生学会 共催:土木学会



この地域シンポジウムは
土木学会CPDプログラムに認定されています

プログラム

- 15:00~15:05 開会挨拶
総合司会 金島 正治 (日本大学理工学部特任教授)
- 15:05~15:35 基調講演
「コミュニティにおけるエネルギー利用について
—省エネルギーのあり方を考える—」
中上 英俊 氏(住環境計画研究所会長・東京工大特任教授)
- 15:35~16:50 話題提供
「環境モデル都市・千代田区の低炭素化の取り組み」
島崎 友四郎 氏(千代田区環境安全部 部長)
- 「スマートコミュニティと環境配慮について」
梶谷 修 氏((株)ポリテック・エイディディ 専務取締役・日本環境アセスメント協会会長)
- 「スマート都市の形成を通じた環境イノベーション」
藤田 壮 氏((独)国立環境研究所 社会環境システム研究センター センター長)
- 「スマートコミュニティにおけるエネルギーマネジメント通信技術」
松倉 隆一 氏(富士通(株) ネットワークソリューション事業本部 シニアマネージャー)
- 「情報通信技術のコミュニティへの活用と国際規格化」
一色 正男 氏(神奈川工科大学教授)

16:50~17:30 パネルディスカッション

お申込み・お問い合わせ先

日本環境共生学会 第16回(2013年度)地域シンポジウム実行委員会・本部事務局

メール: jahes@urban.env.nagoya-u.ac.jp

URL: <http://www.jahes.jp/>

第16回(2013年度)総会・地域シンポジウム

➤ 趣旨

東日本震災以降様々な形でコミュニティに対し分散エネルギー利用を推進するスマートコミュニティの研究開発が実施されているが、コミュニティを形成する地域に生活する人間の活動と連携する姿がなかなか見えてこない。

一方、既存の市街地における切実な課題として、原子力発電所の運転停止に端を発した電力料金の値上げや停電の可能性などエネルギーに関する話題は住民が身近に感じている問題であり、これら対応として、エネルギーの見える化など情報通信技術の利用による、供給サイドと需要サイドとの協調によるエネルギーマネジメントの可能性が急速に高まっている。

現在、スマートコミュニティに対する研究開発においても情報通信を利用した様々な試みが実施されており、研究開発の方向性や成果が見え始めた。そこで、この時期に実際に実務を推進されている方、様々な分野での研究開発推進をされている方、環境管理の在り方を研究されている方、将来の国際的な規格化を狙っている方など様々な分野の方に、最新の動向を紹介いただき、将来のコミュニティへの成果の活用に関する方策について議論をしていただく。

➤ タイムテーブル

行事	時間	内容	場所
チュートリアル <60分>	12:00 13:00	「インフラの劣化問題とその対応」 (希望者のみ) 講師：森杉雅史氏(名城大学教授)	理工学部1号館 122 会議室
2013年度 通常総会 <45分>	13:00 13:45	(全員お集りください)	理工学部1号館 121 会議室
視察会 <60分>	13:45 14:45	「神田駿河台地区の電力供給及び熱供給」 (希望者のみ)	地域冷暖房及び 地域変電所
ポスターセッション <75分>	13:45 15:00	(会員の皆様の研究成果をご覧ください)	121会議室周辺
地域シンポジウム <150分>	15:00 17:30	基調講演 パネルディスカッション ポスター優秀発表賞表彰	理工学部1号館 121 会議室
交流会 <90分>	17:30 19:00	意見交換・交流会 (会費：4,000円/当日支払)	学内食堂 (121 会議室隣)

➤ 参加申込方法

学会ホームページ掲載の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、本部事務局までメールでご送付ください。(視察会の申込受付は終了しました。)

URL <http://www.jahes.jp> メール jahes@urban.env.nagoya-u.ac.jp

➤ 参加費 ※当日支払

団体会員 無料、個人会員¥1,000、個人会員(院生)および学生会員 無料、
個人非会員¥3,000、院生および学生非会員¥1,000